

【基本情報】

教科	地理歴史	学年	2年	教科書	高等学校新地理A（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）
科目	地理A	単位数 (年間予定コマ数)	2 (64)	副教材	新詳地理資料COMPLETE2021（帝国書院）
科目概要	「地理A」は、グローバル化の進展、国際情勢や地球環境の変化などに伴う現代社会が抱える諸課題と、生活圈などの地域にみられる諸課題を地理的に考察する科目です。				
到達目標	現代社会の地理的な諸課題を、地域性や歴史的背景・日常生活との関連をふまえて考察し、地理的認識を養うとともに地理的な見方や考え方を身につける。				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・資源・産業について学習するとともに、さまざまな地図の読図や作図などの作業的・体験的な学習によって地理的技能を身につけます。</li> <li>・授業は講義形式で行いますが、効率的にすすめるために毎回ワークシートを中心に進めていきます。その際、教科書・資料集・地図帳を使って調べてもらったり、白地図を使って作業をしてもらうことがあります。</li> <li>・毎回、必ず教科書・資料集・地図帳・ワークシートを忘れないようにして下さい。</li> </ul>				
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の際に配布されるワークシートをファイルに保存し、ノート代わりに使用すること。ワークシートは答えの穴埋めだけでなく、後から見て分かりやすいように、授業で説明した内容なども空きスペースにメモしておくこと。</li> <li>・板書に際しては、項目の重要度等に応じて色チョークで色分けをします。</li> <li>・忘れ物はしないこと。忘れ物がある場合には事前に申し出ること。</li> <li>・提出物の期限はしっかりと守ること。期限に遅れた場合、減点もしくは0点になる場合があります。</li> <li>・定期考査において、漢字で書けるものについては漢字で書かなければ原則正解にしませんので、普段から意識して学習するようにして下さい。</li> <li>・教師の発問に対する答えや質問など、積極的に授業に参加すること。</li> </ul>				
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは授業を大切に、毎回の授業の中できちんと内容を理解できるように心がけて下さい。その中で理解が不足していたと思われる分野については、教科書を読むなどの家庭学習で補って下さい。また、定期考査に向けてはしっかり学習して臨んで下さい。</li> </ul>				
備考					

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を持っているか。	20%	・ワークシートの作成内容・ノートなど提出状況や授業態度等で評価する。
B. 思考・判断・表現	・現代世界の地理的事象から課題を見だしそれを系統地理的・地誌的に考察することができたか。	20%	・原則的に定期考査の中で「思考・判断・表現」にかかわる問題を出題する。
C. 資料活用の技能	・地図や統計、画像など地域に関する諸資料から情報を読み取ったり、図表などにまとめたりできたか。	20%	・原則的に定期考査の中で、地図や表・グラフなどを用いた「資料活用能力」にかかわる問題を出題する。
D. 知識・理解	・現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解しているか。	40%	・原則的に定期考査の中で、「知識・理解」に関する問題を出題する。

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀からとらえる現代社会	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球体としての地球、季節と時差、地球儀と主な図法による世界地図、現代の地図を学習する。</li> <li>・国家の3要素・国境、日本と外国との関係、国家間の結びつき・国際組織、日本と外国との間の領有権問題などについて学習する。</li> <li>・資料を用いながら、交通・インターネット・貿易の構造について学習する。</li> <li>・都市観光やエコツーリズム、農村観光、観光を軸とした国際的な人々の移動について学習する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる図法の世界地図の比較学習を通じてさまざまな世界地図を場面に応じて適切に扱える技能を身につける。</li> <li>・国境の意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを考察できるようにする。</li> <li>・地域間の結びつきやその変化、現代の特質を理解し、航空路線図や写真などの読み取りを通じて地理的スキルを養う。</li> <li>・観光という視点から地域や国家間のつながりを理解し、観光を題材に地理学習への興味・関心を高める。</li> </ul>
2章 人間生活をとりまく環境	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の大地形について、形成・分布の特色・地下資源との関係について世界的な視野から学習する。また、平野の小地形を学習する。</li> <li>・大気の大循環と気候の地域性、世界の気候区分、各気候帯・気候地域の自然環境の特色とそこで営まれる生産活動を世界的な視野から学習する。</li> <li>・世界の農業・工業の発達と特色、経済活動のグローバル化、民族・言語・宗教について学習する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形・気候環境が人々の生活に及ぼす影響を理解できる。</li> <li>・経済と文化における地理的環境や歴史的背景の影響について理解できる。</li> </ul>
3章 世界の諸地域の生活・文化	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東・東南・南アジアの自然環境の特色、各地域の宗教と言語、社会と産業の特色について学習する。</li> <li>・西・中央アジア、北アフリカについて、イスラム教、乾燥気候、石油資源の開発、民族と文化を中心に学習する。</li> <li>・サハラ以南のアフリカについて、自然環境、植民地支配の歴史、産業の特色を学習する。</li> <li>・ヨーロッパ・ロシアの自然環境、生活と文化、言語と宗教、EUと経済の特色について学習する。</li> <li>・アングロ・ラテンアメリカの歴史・自然環境・生活・文化・産業について学習する。</li> <li>・オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）の生活・文化について学習する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東・東南・南アジアの文化の多様性、環境と生活・産業の関わり、経済発展の要因を理解し、また日本との文化的・経済的な関わりを考察できるようにする。</li> <li>・西・中央アジア、北アフリカの宗教や自然環境、資源開発と人々の暮らしとの関連を理解できる。</li> <li>・サハラ以南のアフリカの経済や民族紛争に歴史的背景があることを理解し、経済発展を始めたアフリカと日本のこれからの関係について考察できるようにする。</li> <li>・ヨーロッパが文化的統一性をもちながらも各地の環境に根ざした多様な生活・文化を有することを理解し、EU統合による各地域の変化を捉えさせ、問題点を考察できるようにする。</li> <li>・アングロ・ラテンアメリカの自然環境や資源、植民地としての歴史などが多様な文化・産業のありように結びつき、地域性をつくりだしていることを理解し、日本の生活・文化との共通点・異質点を考察できるようにする。</li> <li>・オセアニアの自然環境と生活との関連を理解し、同じ海に囲まれた国である日本との違いを考察できるようにする。</li> </ul>
4章 地球的課題と私たち	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸性雨・オゾン破壊・地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化について学習する。</li> <li>・資源・エネルギーの利用・消費・確保と課題について学習する。</li> <li>・人口問題・食料問題について学習する。</li> <li>・人口集中と都市問題の発生、途上国での都市問題、先進国での都市問題について学習する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題は人類が地球的視野で取り組むべき問題であること、また課題には地域性があることに気づくことができる。</li> <li>・資源の偏在性・有限性・消費における地域格差を理解し、持続可能な開発と国際協力の必要性、日本の課題について考察できるようにする。</li> <li>・途上国と先進国では問題が異なることを理解し、人口問題、食料問題、資源・エネルギー問題等の相互の関連性を理解・考察できるようにする。</li> <li>・人口集中によって生じる諸問題、途上国と先進国間の違いを理解し、解決の方策や課題を考察できるようにする。</li> </ul>

第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの地図を集め、地図を用いた情報伝達の方法や、地理情報の電子化について学習する。</li> <li>地形図の読図に必要な基礎的知識を学習する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図の有用性を理解し、地理空間情報を扱う技能を養う。</li> <li>さまざまな地形図の読図の技能を養う。</li> </ul>
2章 日本の自然環境と防災	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地形・気候などの成り立ちと特徴、土地利用や特徴について学習する。</li> <li>日本の火山災害、豪雨・台風の災害、地震災害、津波・高潮の災害について、事例学習を通じて大観的に学習する。</li> </ul>	◎	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境や、人間生活と自然災害との関わりについて理解できる。</li> <li>災害の特徴や地域性、防災への取り組み方や課題を理解し、身近な生活圏の防災について考えられるようにする。</li> </ul>
3章 身近な地域の課題と地域調査	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域調査の手順、利用できる統計、聞き取り等の諸調査の方法と着眼点、分析・まとめ・発表の方法を学習する。</li> </ul>	◎	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域調査を通じて、身近な地域の地理的諸課題を見いだせるようにする。</li> </ul>